



# ホッケー部

## ■ 1946年(昭和21年)公認

部員数

46名



部長  
中村 信男  
商学学術院  
教授

今年度、男子部は、関東リーグ春季1部7位で入替戦敗退により2部降格を味わったが、秋季は2部で優勝して1部復帰し、インカレはベスト16位でした。しかし、早慶定期戦は慶応に勝利し、関東リーグ秋季に4名のベストイレブンを輩出しました。女子部は、関東リーグ春季は1部5位でしたが、秋季は3位に順位を上げました。しかし、インカレは初戦敗退、早慶定期戦も慶応に敗れ連勝記録が途切れましたが、関東リーグ秋季に2名のベストイレブンを輩出することができ、男子部と同様、来期に期待を持っている状況です。ホッケー部は文武両道を旨とし、学業成績でも良い成果を残す部員が少なくありませんが、部としての成績を少しでも向上させるべく、来年度に向けて、今年度の課題を克服し、部員一丸となって練習・試合に臨む所存です。



監督  
原 聡

春季関東大学リーグにおいて、百年を超える歴史の中で、初めて2部降格するという想定外の出来事で前半を終えました。  
4年生の人数が少ない(選手3名トレーナー1名)チームでしたが、その4年生がこのままでは終わらない1部に復帰して卒業という強い思いをもち、チームを強く牽引しました。  
その結果、インカレでは優勝した天理大学に敗れたものの善戦してベスト16、早慶戦では8年ぶりの勝利、そして1部復帰のかる秋季リーグでは、2部リーグを全勝優勝し、入替戦も完勝でした。  
2部降格は残念でしたが、プレッシャーの中、即1部復帰を果たしたことは、今後の人生に向け、掛替えのない体験にはなはずです。



主将  
飯島 圭佑  
スポーツ科学部  
今市

私はこの4年間、充実した濃密な時間を過ごすことができました。  
創部100年をこえる歴史あるチームの一員となり、また最終年度には主将を務めさせていただいたこと、どちらもとても誇りに感じています。4年間を振り返ると、特に主将としての最終年度には、嬉しいことや楽しいことよりも、悔しいことや苦しいことが多かったように思います。それでも頑張ってきたのは、支えてくれた監督やコーチ、先輩、後輩、そして何より共に歩んできた同期のおかげです。この4年間で支えてくださった全ての方々に、心から感謝いたします。ありがとうございました。ホッケー部で得た経験と誇りを糧に、これからは新たなステージで頑張ります。



主務  
齋地 勇太  
商学部  
早大学院

一年間、関係者の皆様より多大なるご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。日頃より熱くご指導くださる監督・コーチの皆様、温かいご声援とご支援を賜るホッケー部員倶楽部の皆様、さらに合宿にて激励いただいたOBの皆様にも、深く感謝申し上げます。また、東京都ホッケー協会様のご後援、東伏見周辺飲食店様のご協賛により、本年度も大井ホッケー場にて早慶戦を開催できましたこと、心より御礼申し上げます。結果が伴わず悔しい日々もございましたが、一人ひとりが姿勢を見直し、チーム一丸となって活動してまいりました。今後も感謝を胸に精進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



女子部門監督  
安岡 裕美子

今年度は「Passion～挑戦者～」というスローガンを掲げ、練習に取り組みました。また、関東学生リーグ決勝進出・全国ベスト8・早慶戦優勝を目標に、トレーニング・分析等を行いました。  
春季はリーグ5位で、王座出場も果たせず、力の差を感じる結果となりました。夏は高根遠征を行い、チームで戦術を練り、取組のある合宿となりました。秋季はリーグで上位進出することができ、早稲田の部員として誇りを持って、初心者の多いチームでも一丸となって考え戦う姿を見せることができました。  
今年も大学関係者の皆様をサポートいただき、感謝しております。今後とも、変わらぬご支援よろしくお願い申し上げます。



女子部門主将  
野中 ほなみ  
教育学部  
高鍋

この4年間は、何物にも代えがたい非常に充実した時間でした。初心者と経験者がそれぞれの持ち味を発揮し強豪校に挑む、早稲田にしかないホッケーの楽しさはもちろん、喜怒哀楽をともにした大好きな同期、先輩方、後輩たちの存在が、自分にとってホッケーを続ける理由でした。もちろん、楽しいことばかりではなく、特に主将を務めた最終年度は、悔しいことや苦しいことも多かったように思います。それでも頑張ってきたのは、支えてくれた監督やコーチ、チームメイト、OBOGの方々のおかげです。憧れの早稲田の一員として、伝統を背負う責任を感じながら仲間と過ごした時間は私にとって宝物です。本当にありがとうございました。



女子部門主務  
西川 航太郎  
政治経済学部  
早稲田本庄

大変ながらも色濃く充実した日々でした。1年生の10月に途中入部し、3年余りの日々をマネージャーとして過ごしました。突然の入部で周囲を驚かせてしまいましたが、先輩方が何も知らない私に丁寧に教えてくださりました。振り返るとうまいかないことばかりで辛いことの方が多かったですが、ですが苦しい時に限って選手が声をかけてくれたり、突わけてくれたり、いままい出されるのは仲間と過ごした楽しい時間ばかりです。理由は宿題ですが、一番の思い出はスタッフなのにホッケースティックで右足を骨折したことです。多くの方が支えてくださったおかげで、最後まで部活動を続けることができました。本当にありがとうございました。



## 本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

(男子)

◇2025年度関東学生ホッケー春季リーグ

(4月5日～6月29日)

1部7位

- ▷東京農業大学(●0-5)
- ▷明治大学(●1-4)
- ▷駿河台大学(●2-3)
- ▷慶應義塾大学(●0-1)
- ▷日本体育大学(○5-1)
- ▷一橋大学(●1-3)

◇2025年度関東学生ホッケー秋季リーグ

(9月6日～12月7日)

2部優勝

- ▷東京大学(○4-1)
- ▷横浜市立大学(○21-0)
- ▷東海大学(○5-1)
- ▷立教大学(○6-0)
- ▷日本体育大学(○3-0)

◇男子第74回・女子第47回全日本学生ホッケー選手権大会

(10月30日～11月3日)

ベスト16

- ▷1回戦:関西大学(○2-1)
- ▷2回戦:天理大学(●1-4)

◇男子第99回・女子第33回早慶ホッケー定期戦 (11月15日)

優勝

- ▷慶應義塾大学(○2-0)

(女子)

◇2025年度関東学生ホッケー春季リーグ

(4月5日～6月29日)

1部5位

- ▷慶應義塾大学(○1-0)
- ▷駿河台大学(○1-0)
- ▷立教大学(●0-1)
- ▷横浜市立大学(○8-0)
- ▷防衛大学校(○1-0)

◇2025年度関東学生ホッケー秋季リーグ

(9月6日～12月7日)

1部3位

- ▷山梨学院大学(●0-13)
- ▷立教大学(○1-0)
- ▷学習院大学(○1-0)
- ▷駿河台大学(●0-4)
- ▷東京農業大学(○0-0)(SO4-3)

◇男子第74回・女子第47回全日本学生ホッケー選手権大会

(10月30日～11月3日)

ベスト16

- ▷1回戦:福井工業大学(●0-3)

◇男子第99回・女子第33回早慶ホッケー定期戦 (11月15日)

準優勝

- ▷慶應義塾大学(●0-1)

